

令和元年度

応用行動分析に基づく不適応行動の改善研修講座

特別支援教育課

目の前の児童生徒の「気になる行動」を応用行動分析学を使ってなんとかしたい、また行動の原理をしっかりと学び、「気になる行動」に向き合いたいという、小・中・高等学校、特別支援学校の先生方92名が研修に参加しました。



★10:00～12:00 講義・演習 ★

星槎大学大学院教育実践研究科教授

三田地 真実先生

「応用行動分析学に基づく生徒指導体制づくり」
ー スクールワイドPBS (ポジティブ行動支援) ー

応用行動分析学の基礎的な理論をわかりやすくお話いただきました。児童生徒を「ありのままに観る」ことをとおして「適応行動」に目を向けることで、その児童生徒のよい面を「ありのままに観てさらに伸ばしていける」ようになることが最終的なゴールであると、熱の入ったご講義をいただきました。



三田地先生が作成された
「ABAでハッピースクールライフ」
というDVDをいただきました。



★13:00～16:00 実践発表・演習 「応用行動分析に基づいた不適応行動の改善」★

午後は、「小学校」「中・高等学校」「特別支援学校」の3つのグループに分かれて、協力者の先生方の実践発表を聞いた後、指導主事の説明を聞きながら演習に取り組みました。最後に応用行動分析に基づいた「指導の手続き作成シート」を完成させ、明日からの指導に役立つヒントを持ち帰ることができました。

第1分散会【小学校】

☆実践発表



つくば市立学園の森義務教育学校
山口 禎恵 教諭

☆演習



第2分散会【中・高等学校】

☆実践発表



県立水戸南高等学校 中田 弘美 教諭

☆演習



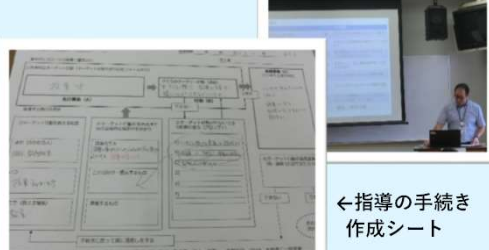
第3分散会【特別支援学校】

☆実践発表



県立水戸飯富特別支援学校
鈴木 悠希子 教諭

☆演習



←指導の手続き
作成シート